

北海道爬虫両棲類研究会第2回大会

北海道爬虫両生類研究会では、2014年1月25日（土）に一般聴講も可能な基調講演、ハーブソン報告、研究発表会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。今回は札幌市円山動物園との共催ということもあり、様々な方にお越しいただければ幸いと考えております。

午前の基調講演では北海道の両生類や爬虫類を研究されている東海大学生物学部生物学科の竹中践教授と、札幌市円山動物園で両生類爬虫類館の飼育担当をされている本田直也氏にお話していただきます。あわせて同日に北海道で開催された道内爬虫類両生類一斉調査のハーブソンについて当会会長の徳田龍弘が報告させていただきます。

日時

2014年1月25日（土曜日）

場所

札幌市円山動物園 動物園センター（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

1月25日（土） 開場:9:45 開演:10:00～15:10

10:00～10:05 開会のあいさつ

10:05～11:05 東海大学生物学部生物学科・竹中践教授 「爬虫類（カナヘビ類）の生活史を調べる」

11:05～12:05 札幌市円山動物園・本田直也氏 「北海道の両生類・爬虫類の飼育（仮）」

12:05～13:00 休憩（12:05～12:35 北海道爬虫両棲類研究会総会：会員のみ）

13:00～13:30 北海道爬虫両棲類研究会・会長 徳田龍弘 「ハーブソン Hokkaido 2013 結果報告」

13:30～15:00 研究発表等

15:00～15:10 閉会のあいさつ

（15:10～16:00 両生類爬虫類館観察ツアー：会員のみ）

申込み方法

予約はありませんので、ご自由にお越しください。

定員 50名

料金

参加無料ですが、動物園入園料を各自ご負担お願い致します。

（駐車場：動物園の駐車場 700円／日）

【講師紹介】

竹中踐氏（たけなか せん） 東海大学生物学部生物学科・教授

日本爬虫両棲類学会、日本生態学会所属。主にカナヘビを対象として、繁殖の特徴の地域差や、分類や進化についての研究を行う。ほか、エゾアカガエルの繁殖行動、北海道全体の両生爬虫類相の分析とその保護、また鳥類のムクドリのおぐらと食物探しの場所の関係などを研究する。環境省レッドリスト、北海道レッドデータブック作成に携わる。

本田直也氏（ほんだ なおや） 札幌市円山動物園両生類爬虫類館・飼育担当

1976年札幌生まれ、1996年より円山動物園勤務。爬虫類、両生類、猛禽類担当、学芸員。NPO法人日本放鷹協会認定諏訪流鷹匠。2002年にヨウスコウワニの繁殖で「高碕賞」、2007年に市民ZOOネットワーク「動物園人賞」を受賞。自宅でも犬猫をはじめ、爬虫類や猛禽類など多数の動物を管理しており、仕事における「稽古場」として機能している。

徳田龍弘氏（とくだ たつひろ） 北海道爬虫両棲類研究会・会長

1975年札幌市生まれ。フォトグラファー、ライター。ヘビを中心に爬虫類、両生類、野生動物の写真を撮影する。野外での動物の観察がライフワーク。日本爬虫両棲類学会会員、獣医師。主著で2011年3月に北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑、共著で2013年にOld World Ratsnakesを出版。

問い合わせ先

〒061-2303 北海道札幌市南区定山溪温泉西 2-45-1-306 北海道爬虫両生類研究会事務局 徳田宛
syomu@koke-koke.com